

安全データシート

作成日 2006年 7月 1日

改訂日 2024年 3月27日

1.製品及び会社情報

製品名： OSカラーEC N-75
会社名： オバナヤ・セメントックス株式会社
住所： 三重県いなべ市北勢町東村1339
電話番号： 0594-72-6488
FAX番号： 0594-72-6253
担当部門： 製造部 工場管理課
整理番号： M3311

2.危険有害性の要約

GHS分類

特定標的臓器毒性(単回ばく露)： 区分2(中枢神経系、血液系、腎臓)
特定標的臓器毒性(反復ばく露)： 区分1(呼吸器系)
水生環境有害性 短期(急性)： 区分3
水生環境有害性 長期(慢性)： 区分3

GHSラベル要素



注意喚起語： 危険

危険有害性情報： 臓器(中枢神経系、血液系、腎臓)の障害のおそれ
長期にわたる、又は反復ばく露による臓器(呼吸器系)の障害
水生生物に有害
長期継続的影響により水生生物に有害

注意書き： 《安全対策》
医学的な助言が必要な時には、製品容器やラベルを持っていくこと。
子供の手の届かないところに置くこと。
使用前に取扱説明書入手すること。
全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
《応急措置》
気分が悪い時は医師に連絡すること。
吸入又は、皮膚への付着がある場合、医師の診断/手当を受けること。
《保管》
耐腐食性/耐腐食性内張りのある密閉容器に保管すること。
涼しく換気の良い場所で、保管すること。
《廃棄》
内容物/容器を国際/国/都道府県/市町村の規則に従って廃棄すること。

3.組成及び成分情報

単一製品・混合物の区分： 混合物

成分及び含有量：

成分名	含有量(wt)	CASNo.	PRTR法
酸化チタン	10~20%	13463-67-7	
エチレングリコール	1%	107-21-1	
酸化スズ(IV)	<1%	18282-10-5	
メタノール	<1%	67-56-1	
カーボンブラック	<1%	1333-86-4	

4.応急措置

- 吸入した場合： 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
直ちに医師の診断/手当を受けること。
- 皮膚に付着した場合： 付着物を布にて素早く拭き取ること。
大量の水又はシャワーで洗うこと。石鹼又は皮膚用の洗剤を使用して十分に洗い落とす。
溶剤、シンナーは使用しないこと。
外観に変化が見られたり、刺激・痛みがある場合、気分が悪い時には医師の診断/手当を受けること。
- 眼に入った場合： 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
まぶたの裏まで完全に洗うこと。
直ちに医師に連絡すること。
- 飲み込んだ場合： 安静にして直ちに医師の診断を受けること。
嘔吐物は飲み込ませないこと。
医師の指示による以外は無理に吐かせないこと。

5.火災時の措置

- 消火剤： 本製品は不燃である。周辺設備に適した消火剤を使用する。
- 使ってはならない消火剤： 情報なし
- 特有の消火方法： 適切な保護具(耐熱性着衣など)を着用する。
安全に対処できるのであれば可燃性の物を周囲から素早く取り除くこと。
指定の消火剤を使用すること。
高温にさらされる密閉容器は水をかけて冷却すること。
消火作業は可能な限り風上から行う。
周辺火災に対応して、消火活動を行うこと。

6.漏出時の措置

- 人体に対する注意事項： 作業の際には適切な保護具(手袋、保護マスク、エプロン、ゴーグル等)を着用する。
屋内では換気をしっかり行うこと。
屋外の場合は、できるだけ風上から作業を行うこと。
周辺を立ち入り禁止にして、関係者以外を近づけないようにして二次災害を防止すること。
- 環境に対する注意事項： 河川への排出などにより、環境への影響を起こさないように注意すること。
- 封じ込め及び浄化の方法・機材： 漏出物は密閉できる容器に回収し、安全な場所に移す。
付着物、廃棄物などは、関係法規に基づいて処置すること。

7.取扱い及び保管上の注意

- 取り扱い上の注意： 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
取扱い後は手と顔をよく洗うこと。
この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
環境への放出を避けること。
- 保管上の注意： 耐腐食性/耐腐食性内張りのある密閉容器に保管すること。
涼しく換気の良い場所で、施錠して保管すること。
子供の手の届かないところに保管すること。
漏れ、あふれ、飛散しないように必要な措置を講ずること。

8.ばく露防止及び保護措置

管理濃度：

メタノール	作業環境評価基準: 200ppm
-------	------------------

許容濃度：

酸化チタン	ACGIH(TLV) 10 mg/m ²
エチレングリコール	ACGIH(TLV) C 100 ppm
酸化スズ (IV)	ACGIH(TLV) 2(Sn, inorganic) mg/m ²
メタノール	日本産業衛生学会 200ppm, 260 mg/m ³ ACGIH(TLV) 200ppm (皮)
カーボンブラック	日本産業衛生学会 1 mg/m ³ ACGIH(TLV) 3 mg/m ²

- 設備対策： 屋内塗装作業の場合は自動塗装機、局所排気装置等により作業者のばく露が避けられる設備にすること。
タンク内部等の密閉場所で作業をする場合には、密閉場所全体を十分に換気できる装置を取り付けること。粉塵が積もらないような設備とすること。
- 呼吸器の保護具： 防じんマスクを着用すること。密閉された場所では送気マスクを着用すること。
- 手の保護具： 有機溶剤又は化学薬品が浸透しない材質の手袋を着用すること。
- 眼の保護具： 保護眼鏡を着用すること。
- 皮膚及び身体の保護具： 皮膚を直接曝させないような衣類を着けること。また化学薬品が浸透しない材質であることが望ましい。
- その他： 静電気塗装を行う場合は帯電防止服、通電靴を着用すること。

9.物理的及び化学的性質

物理状態：	液体
色：	灰色
臭い：	無臭
沸点：	データなし
可燃性：	不燃
爆発範囲：	データなし
引火点：	データなし
自然発火点：	データなし
分解温度：	データなし
pH：	6-9
動粘性率：	データなし
水に対する溶解度：	水と混和する
蒸気圧：	データなし
密度：	1.2g/cm ³ (23℃)
相対ガス密度	データなし
粒子特性：	データなし

10.安定性及び反応性

安定性：	通常の手扱いは安定。
反応性：	データなし
避けるべき条件：	凍結させないこと。
混触危険物質：	データなし
危険有害な分解生成物：	データなし

11.有害性情報

成分名

酸化チタン	特定標的臓器毒性(反復ばく露)：	区分1(呼吸器系)
エチレングリコール	急性毒性 吸入(粉塵/ミスト)	区分4
	皮膚腐食性/皮膚刺激性：	区分2
	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性：	区分2B
	特定標的臓器毒性(単回ばく露)：	区分1(中枢神経系、血液系、腎臓)
	特定標的臓器毒性(単回ばく露)：	区分3(気道刺激性、麻酔作用)

酸化スズ(IV)	特定標的臓器毒性(反復ばく露) :	区分1(肺)
メタノール	急性毒性 経口 :	区分4
	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 :	区分2
	生殖毒性 :	区分1B
	特定標的臓器毒性(単回ばく露) :	区分1(中枢神経系、視覚器、全身毒性)
	特定標的臓器毒性(単回ばく露) :	区分3(麻酔作用)
	特定標的臓器毒性(反復ばく露) :	区分1(中枢神経系、視覚器)
カーボンブラック	発がん性 :	区分2
	特定標的臓器毒性(反復ばく露) :	区分1(呼吸器系)

※日本塗料工業会が独自に分類した化学物質と分類結果

・日本酸化チタン工業会の見解により、酸化チタンの発がん性を「分類できない」として扱っている。

12.環境影響情報

水生環境有害性以外の

生態毒性 :	データなし
残留性・分解性 :	データなし
生体蓄積性 :	データなし
土壤中の移動性 :	データなし

	水生環境有害性	
	短期(急性)	長期(慢性)
酸化チタン	区分に該当しない	区分4
エチレングリコール	区分に該当しない	区分に該当しない
酸化スズ(IV)	分類できない	分類できない
メタノール	区分に該当しない	区分に該当しない
カーボンブラック	区分に該当しない	分類できない

オゾン層への有害性 : 分類できない

漏洩、廃棄などの際には、環境に影響を与えるおそれがあるので、取扱いに注意する。特に、製品や洗浄水が地面、川や排水溝に直接流れないように対処すること。

13.廃棄上の注意

残余廃棄物 : 内容物/容器を国際/国/都道府県/市町村の規則に従って廃棄すること。
 廃塗料、廃溶剤、容器等の廃棄物は許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約して処理をすること。
 容器、機器装置等を洗浄した排水等は地面や排水溝にそのまま流さないこと。
 固化した塗料、焼却物、排水も関係する法規に従って処理を行うか、委託すること。
 環境に配慮し、空容器、包装等はリサイクルを推奨すること。

14.輸送上の注意

注意事項 : 取扱い及び保管上の注意の項の記載に従うこと。
 容器の破損、漏れのないことを確かめ、衝撃、転倒、落下、容器破損のないように積み込み、荷崩れ防止を確実にすること。

国連番号 : 該当しない

国連品名 : 該当しない

国連分類 : —

容器等級 : —

国内規制がある場合の規制情報

指針番号 : 128

陸上輸送 : 消防法、安衛法、毒劇法に該当する場合は、それぞれの法律に定められる運搬方法に従うこと。

海上輸送 : 船舶安全法、海洋汚染防止法の定められるところに従うこと。

航空輸送 : 航空法に定められるところに従うこと。

15.適用法令

消防法：	該当しない
労働安全衛生法：	名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第 57 条の2) 酸化チタン、エチレングリコール、酸化スズ (IV)、メタノール、カーボンブラック
有機溶剤中毒予防規則：	該当しない
特定化学物質障害予防規則：	該当しない
がん原性物質：	該当しない
毒物及び劇物取締法：	該当しない
化学物質管理促進法・ PRTR：	該当しない

16.その他情報

本データシートは作成時又は改訂時において、製品及びその組成に関する最新の情報(危険有害性情報・取扱い情報)を集めて作成しておりますが、全ての情報を網羅したものではなく、新たな情報を入手した場合には追加・修正を行ない改訂いたします。

また、本データシートに記載のデータは、その製品を代表する値であり、保証値ではありません。本製品を当社が認めた材料以外のものとの混合、当社が認めた仕様以外の特殊な条件で使用する場合には、使用者において安全性の確認を行なってください。

安全データシート

作成日 2006年 7月 1日

改訂日 2024年 3月27日

1. 製品及び会社情報

製品名： OSカラーEC 白

会社名： オバナヤ・セメントックス株式会社
住所： 三重県いなべ市北勢町東村1339
電話番号： 0594-72-6488
FAX番号： 0594-72-6253
担当部門： 製造部 工場管理課
整理番号： M3311

2. 危険有害性の要約

GHS分類

特定標的臓器毒性(単回ばく露)： 区分2
特定標的臓器毒性(反復ばく露)： 区分1(呼吸器系)
水生環境有害性 短期(急性)： 区分3
水生環境有害性 長期(慢性)： 区分3

GHSラベル要素



注意喚起語： 危険

危険有害性情報： 臓器の障害のおそれ

長期にわたる、又は反復ばく露による臓器(呼吸器系)の障害
水生生物に有害
長期継続的影響により水生生物に有害

注意書き：

《安全対策》

医学的な助言が必要な時には、製品容器やラベルを持っていくこと。
子供の手の届かないところに置くこと。
使用前に取扱説明書入手すること。
全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。

《応急措置》

気分が悪い時は医師に連絡すること。
吸入又は、皮膚への付着がある場合、医師の診断/手当を受けること。

《保管》

耐腐食性/耐腐食性内張りのある密閉容器に保管すること。
涼しく換気の良い場所で、保管すること。

《廃棄》

内容物/容器を国際/国/都道府県/市町村の規則に従って廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区分： 混合物

成分及び含有量：

成分名	含有量(wt)	CASNo.	PRTR法
酸化チタン	10~20%	13463-67-7	
酸化スズ(IV)	<1%	18282-10-5	
メタノール	<1%	67-56-1	

4.応急措置

- 吸入した場合： 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
直ちに医師の診断/手当を受けること。
- 皮膚に付着した場合： 付着物を布にて素早く拭き取ること。
大量の水又はシャワーで洗うこと。石鹼又は皮膚用の洗剤を使用して十分に洗い落とす。
溶剤、シンナーは使用しないこと。
外観に変化が見られたり、刺激・痛みがある場合、気分が悪い時には医師の診断/手当を受けること。
- 眼に入った場合： 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
まぶたの裏まで完全に洗うこと。
直ちに医師に連絡すること。
- 飲み込んだ場合： 安静にして直ちに医師の診断を受けること。
嘔吐物は飲み込ませないこと。
医師の指示による以外は無理に吐かせないこと。

5.火災時の措置

- 消火剤： 本製品は不燃である。周辺設備に適した消火剤を使用する。
- 使ってはならない消火剤： 情報なし
- 特有の消火方法： 適切な保護具(耐熱性着衣など)を着用する。
安全に対処できるのであれば可燃性の物を周囲から素早く取り除くこと。
指定の消火剤を使用すること。
高温にさらされる密閉容器は水をかけて冷却すること。
消火作業は可能な限り風上から行う。
周辺火災に対応して、消火活動を行うこと。

6.漏出時の措置

- 人体に対する注意事項： 作業の際には適切な保護具(手袋、保護マスク、エプロン、ゴーグル等)を着用する。
屋内では換気をしっかり行うこと。
屋外の場合は、できるだけ風上から作業を行うこと。
周辺を立ち入り禁止にして、関係者以外を近づけないようにして二次災害を防止すること。
- 環境に対する注意事項： 河川への排出などにより、環境への影響を起こさないように注意すること。
- 封じ込め及び浄化の方法・機材： 漏出物は密閉できる容器に回収し、安全な場所に移す。
付着物、廃棄物などは、関係法規に基づいて処置すること。

7.取扱い及び保管上の注意

- 取り扱い上の注意： 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
取扱い後は手と顔をよく洗うこと。
この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
環境への放出を避けること。
- 保管上の注意： 耐腐食性/耐腐食性内張りのある密閉容器に保管すること。
涼しく換気の良い場所で、施錠して保管すること。
子供の手の届かないところに保管すること。
漏れ、あふれ、飛散しないように必要な措置を講ずること。

8.ばく露防止及び保護措置

管理濃度：

メタノール	作業環境評価基準: 200ppm
-------	------------------

許容濃度：

酸化チタン	ACGIH(TLV) 10 mg/m ²
酸化スズ (IV)	ACGIH(TLV) 2(Sn, inorganic) mg/m ²
メタノール	日本産業衛生学会 200ppm, 260 mg/m ³ ACGIH(TLV) 200ppm (皮)

- 設備対策： 屋内塗装作業の場合は自動塗装機、局所排気装置等により作業者のばく露が避けられる設備にすること。
タンク内部等の密閉場所で作業をする場合には、密閉場所全体を十分に換気できる装置を取り付けること。粉塵が積もらないような設備とすること。
- 呼吸器の保護具： 防じんマスクを着用すること。密閉された場所では送気マスクを着用すること。
- 手の保護具： 有機溶剤又は化学薬品が浸透しない材質の手袋を着用すること。
- 眼の保護具： 保護眼鏡を着用すること。
- 皮膚及び身体の保護具： 皮膚を直接曝させないような衣類を着けること。また化学薬品が浸透しない材質であることが望ましい。
- その他： 静電気塗装を行う場合は帯電防止服、通電靴を着用すること。

9.物理的及び化学的性質

物理状態：	液体
色：	白色
臭い：	無臭
沸点：	データなし
可燃性：	不燃
爆発範囲：	データなし
引火点：	データなし
自然発火点：	データなし
分解温度：	データなし
pH：	6-9
動粘性率：	データなし
水に対する溶解度：	水と混和する
蒸気圧：	データなし
密度：	1.2g/cm ³ (23℃)
相対ガス密度	データなし
粒子特性：	データなし

10.安定性及び反応性

安定性：	通常の取扱いでは安定。
反応性：	データなし
避けるべき条件：	凍結させないこと。
混触危険物質：	データなし
危険有害な分解生成物：	データなし

11.有害性情報

成分名

酸化チタン	特定標的臓器毒性(反復ばく露)：	区分1(呼吸器系)
酸化スズ(IV)	特定標的臓器毒性(反復ばく露)：	区分1(肺)
メタノール	急性毒性 経口：	区分4
	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性：	区分2
	生殖毒性：	区分1B
	特定標的臓器毒性(単回ばく露)：	区分1(中枢神経系、視覚器、全身毒性)
	特定標的臓器毒性(単回ばく露)：	区分3(麻酔作用)
	特定標的臓器毒性(反復ばく露)：	区分1(中枢神経系、視覚器)

※日本塗料工業会が独自に分類した化学物質と分類結果

・日本酸化チタン工業会の見解により、酸化チタンの発がん性を「分類できない」として扱っている。

12.環境影響情報

水生環境有害性以外の

生態毒性： データなし
 残留性・分解性： データなし
 生体蓄積性： データなし
 土壌中の移動性： データなし

	水生環境有害性	
	短期(急性)	長期(慢性)
酸化チタン	区分に該当しない	区分4
酸化スズ(IV)	分類できない	分類できない
メタノール	区分に該当しない	区分に該当しない

オゾン層への有害性： 分類できない

漏洩、廃棄などの際には、環境に影響を与えるおそれがあるので、取扱いに注意する。特に、製品や洗浄水が地面、川や排水溝に直接流れないように対処すること。

13.廃棄上の注意

残余廃棄物： 内容物／容器を国際／国／都道府県／市町村の規則に従って廃棄すること。
 廃塗料、廃溶剤、容器等の廃棄物は許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約して処理をすること。
 容器、機器装置等を洗浄した排水等は地面や排水溝にそのまま流さないこと。
 固化した塗料、焼却物、排水も関係する法規に従って処理を行うか、委託すること。
 環境に配慮し、空容器、包装等はリサイクルを推奨すること。

14.輸送上の注意

注意事項： 取扱い及び保管上の注意の項の記載に従うこと。
 容器の破損、漏れのないことを確かめ、衝撃、転倒、落下、容器破損のないように積み込み、荷崩れ防止を確実にすること。

国連番号： 該当しない
 国連品名： 該当しない
 国連分類： —
 容器等級： —

国内規制がある場合の規制情報
 指針番号： 128
 陸上輸送： 消防法、安衛法、毒劇法に該当する場合は、それぞれの法律に定められる運搬方法に従うこと。
 海上輸送： 船舶安全法、海洋汚染防止法の定められるところに従うこと。
 航空輸送： 航空法に定められるところに従うこと。

15.適用法令

消防法： 該当しない
 労働安全衛生法： 名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第57条の2)
 酸化チタン、酸化スズ(IV)、メタノール
 有機溶剤中毒予防規則： 該当しない
 特定化学物質障害予防規則： 該当しない
 がん原性物質： 該当しない
 毒物及び劇物取締法： 該当しない
 化学物質管理促進法・
 PRTR： 該当しない

16.その他情報

本データシートは作成時又は改訂時において、製品及びその組成に関する最新の情報(危険有害性情報・取扱い情報)を集めて作成しておりますが、全ての情報を網羅したものではなく、新たな情報を入手した場合には追加・修正を行ない改訂いたします。

また、本データシートに記載のデータは、その製品を代表する値であり、保証値ではありません。本製品を当社が認めた材料以外のものとの混合、当社が認めた仕様以外の特殊な条件で使用する場合には、使用者において安全性の確認を行なってください。
